

令和6年3月29日
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所

医療用ラジオアイソトープの製造技術開発を推進するため

PDRファーマ株式会社及び株式会社化研と共同研究契約を締結

～ 国産 Mo-99/Tc-99m の放射性医薬品としての品質確保に向けて ～

(お知らせ)

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(以下、「原子力機構」という。)は、放射性医薬品の原料となるモリブデン99/テクネチウム99m* (Mo-99/Tc-99m)を研究用原子炉JRR-3で製造する技術開発を推進するため、PDRファーマ株式会社及び株式会社化研と共同研究契約を締結しましたのでお知らせします。

Mo-99/Tc-99mは国内需要のすべてを輸入に頼っていることから、国民の福祉向上の観点で国内生産することが望まれています。原子力機構と製薬企業との協力体制を確立することで、JRR-3を用いて進めてきた製造技術の開発を、医薬品原料としての品質を確保する次の段階に進めるため、本日、契約を締結したものです。

本事業の推進に当たっては、安全確保を最優先に、立地地域並びに国民の皆さまのご理解を得ながら着実に進めてまいります。

JRR-3 について: <https://jrr3.jaea.go.jp/>

* :国内において SPECT 検査に最も多く用いられているラジオアイソトープであり、現在は 100%輸入に依存している。SPECT 検査とは、体内に投与した放射性物質から出る放射線で断層画像を撮影する核医学検査。

以上